

## 令和4年度

## 事業計画書

## 特定非営利活動法人トイミック

## 1 事業実施の方針

他の連携する生活困窮者支援団体が実施するIT系支援プロジェクトについての企画・運営協力を行うと同時に、同プロジェクトを活用して官民がシームレスに生活困窮者の支援にあたるよう、行政との連携の在り方についての検討を行う。

また、これまでの生活困窮者支援団体等が行ってきた相談対応の知見を共通のオンラインプラットフォーム上に集積し、今後の相談対応に生かしていくことで各団体の活動や団体運営基盤強化に資するような仕組みづくりに向けた情報収集、プラットフォーム作成を行う。

アウトリーチ事業では、「2歩前の支援」を目指し、住居は喪失しているもののフードデリバリーなどで生計を維持している方を対象とした相談支援事業を実施するとともに、他に相談支援につながりやすい切り口を相談対応の中から模索していく。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 530 】千円 )

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
生活困窮者のための通信インフラ支援事業	IT系支援プロジェクトの推進に向けた運営協力および、支援団体向けボイスチャット相談システムの導入支援を行う	通年	都内各所	1～3名	都内および近県の生活困窮者等支援団体	10団体程度	200
支援につながりにくい方に向けたアウトリーチ事業	安定した住まいを失いフードデリバリー等で生活費を捻出している方に対し、自転車の無料レンタルや自転車保険料の助成、その他生活支援等を行う	通年	都内各所	1～3名	都内等にいる住居不安定の主に若年層	10名程度	300
その他目的を達成するために必要な事業	官民何らかの支援につながったとしても、安定して継続した支援を提供するにあたり必要な機能(例えば住居を借りる際の緊急連絡先など)について柔軟に対応していく	通年	都内各所	1～3名	連携する支援団体等から要請のあった者	5名程度	30